



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟
編集・発行人 小島信也
東京都文京区後楽1-7-6
〒112-0004 林友ビル6階
電話 03(3818)2906
FAX 03(3818)2907
毎月1回1日発行
定価 年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

第45回JAS製材品普及推進展示会 四社に農林水産大臣賞

全木連、全買連及び全市連は、45回JAS製材品普及推進展示会の表彰式・記念講演会を平成30年2月8日、ホテルグランドヒル市ヶ谷で開催した。出席は、服部順昭審査委員長(日本木材加工技術協会会長)、吉条良明全木連会長、市川英治全市連会長、早川金光全買連会長ほか三団体の役員、受賞関係者など。また、来賓として、農林水産省食料産業局松本修一食品規格室長、林野庁木材産業課の猪島康浩課長等の関係者多数のご出席を頂いた。

全木連の吉条会長は、主催三団体を代表し、本年度の展示会に、ご協力を頂いた関係者への謝辞、品質・強度の担保された、JAS製材品への期待がこれまで以上に高まっており、JAS製品の普及推進・供給体制を図っていききたい等挨拶した。

【審査結果の講評】

服部委員長より、概略、次のとおり審査の報告を頂いた。昨年の8月から11月まで5会場(一社)全国木材組合連合会、(一社)全日本木材市場連盟、(一社)

全国木材市売買方組合連盟主催の第45回JAS展示会の審査を行った。主催団体、各会場の審査委員とオブザーバー、検査員の皆様には厚く御礼。含水率測定を始め厳正な審査と総合調整審査ができた。今年度の出品工場数は63(昨年度66)で、前年度より3工場減、出品量は662㎡(同567㎡)で、95㎡増加した。1工場当たり出品量は昨年度より2㎡多い10・5㎡に増。審査結果は、100点満点が13工場(同16)と昨年度より3件減、機械等級材は出品工場数の約1/3で昨年度並み。審査は減点法で、目立った原因は、格付実績・出荷実績の少なさと等級格付けのずれ。欠石、ナイフマーク、乾燥不足も散見。年度は含水率が全て規格を満たし加点された製品は13件、78%が含水率管理において規格どおり行われ

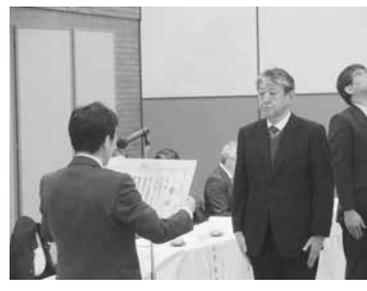


(服部審査委員長講評)

ていたが、残り約2割は乾燥不足。総合調整審査の結果、農林水産大臣賞4件、消費・安全局長賞12件、林野庁長官賞16件を決定し推薦しました。3団体の会長賞23件も選考しました。優良市場さん及び優良買方さんに感謝状を、受賞されました皆様には心からお祝い申し上げます。審査を終えての感想ですが、天皇杯や局長賞・長官賞を繰り返し取られる工場が常連として上位に並んでいる。そのような工場でも、時々規格から大きく外れている製品が散見され、品質管理の更なる徹底をお願いしたい。今回、9工場が格付実績と出荷実績での減点で満点を逃したが、JAS製材品普及推進のため、これまでも審査方法を改善してきたが、配点の更なる微調整が必要かもしれない。大臣賞、局長賞及び長官賞受賞の内、機械等級材は前回同様44%。今回3団体会長賞を授与された機関におかれては次年度、更に上位の賞にチャレンジして頂きたい。

【表彰】

松本食品規格室長に農林水産大臣賞と食料産業局長賞の贈呈を、猪島課長に林野庁長官賞を贈呈していただいた。



(大臣表彰の様子)

【農林水産大臣賞】(一)は県名
また、主催団体賞は、吉条会長が贈呈し、優良開催市場への感謝状は、市川会長が贈呈した。(詳細は、別掲のとおり)
猪島課長は、「受賞者への祝辞、主催三団体への感謝を述べた後、国内の人工林は利用期を迎え、林業の成長産業化、地方創生に大きな期待が寄せられている。木材の安定供給体制の整備と需要拡大が重要。今後、非住宅、中大規模建築分野が期待されるが、構造計算が不可欠で木材についても品質・性能が求められ、JAS製品の重要性が増してゆくの



(優良市場表彰の様子)

東濃ひのき製品流通協同組合 第二工場 (岐阜)、山下木材(株) 製材工場、牧野木材工業(株) 本社工場(以上岡山)、(株)さつまファインウッド かごしま材JAS 製品流通加工センター(鹿児島)

【食料産業局長賞】

(株)沓澤製材所 製材工場(秋田)、(有)菊池製材所 製材工場(岩手)、金子製材(株) 製材工場(埼玉)、(株)東海木材相互市場 大口工場(愛知)、伊藤林産(有)製材工場、(株)丸七ヒダ川ウッド 製材工場(以上岐阜)、齋藤木材(有) 製材工場(三重)、(株)丸左木材製材工場、(株)鈴鹿製材所 製材工場、小林製材(株)本社工場(以上岡山)、大林産業(株) 製材工場(山口)、都城木材(株) 宮村工場(宮崎)

【林野庁長官賞】

(株)佐藤製材所 製材工場(宮城)、(有)倉地製材所 製材工場、飛騨高山森林組合 新宮工場、交告製材(株) 製材工場、東白川製材協同組合 製材工場(以上岐阜)、河井林産(株)製材工場、鳥越工業(株)製材工場、岡山高次木材加工(協)工場(以上岡山)、八幡浜官材協同組合製材工場(愛媛)、(株)日田十条 製材工場、(有)穴井製材所 製材工場(以上大分)、エンジニアウッド宮崎事業協同組合 加工センター、木協産業(株) 加工センター、宮内林業(株) 製材工場(以上宮崎)、(株)松島木材センター 製材工場、(有)三和物産 製材工場(以上熊本)

【優良市場】東京木材市場株式会社(東京)、(株)東海木材相互市場大口市場(愛知)、株式会社伊万里木材市場(佐賀)

【全木連会長賞】

(有)森製材所 製材工場(岐阜)、中国木材(株)郷原工場(広島)、久万広域森林組合久万事業所(愛媛)、(株)

佐藤製材所 製材工場(大分)、外山木材(株) 今町工場(宮崎)、熊本モルター加工事業協同組合 加工工場、(株)佐藤林業 製材工場(以上熊本)

【全市連会長賞】

二宮木材(株) 本社工場(栃木)、江与味製材(株) 製材工場(岡山)、中国木材(株)本社工場(広島)、(株)ヤマサ 製材工場(大分)、サウスウッド宮崎協同組合 木材加工流通センター、持永木材(株) 早鈴工場、中国木材(株) 日向工場(以上宮崎)

【全買連会長賞】

東北木材(株) 製材工場(秋田)、桑原木材(株) 金山工場(岐阜)、ウツドリリンク(株) 製材事業部 製材工場(富山)、越井木材工業(株) 本社工場(大阪)、(株)ネクスト 本社工場(大分)、(株)北條 製材工場、吉田産業(株) 吉田製材工場(以上宮崎)、松本木材(株) 荒尾工場(熊本)

【優良買方】

旭木材工業株式会社(茨城)、有田社 豊田(千葉)、株式会社 田島木材(富山)、河井林産株式会社(岡山)、株式会社 佐々総合産業(長崎)

【記念講演会】

続いて、セイホク(株)技師長 神谷文夫氏が「木構造の視点から見た製材に対して要求される品質と性能」と題して講演された。概要は以下のとおり。

- ① 伝統構法と製材 木材本来の強度を活かす
- ② 製材によって強度が下がる 繊維傾斜を作る。節も繊維傾斜 丸みのある材、曲がり材のそのまま利用は最良
- ③ 軸組構法の変遷と材料の変化 機械ブレカット以前の軸組構法(生産量は大工の人数で決まる、継手・仕口)、軸



(講演の様子)

- ④ 軸組構法用材に必要なとされる強度 梁・柱が折れる事故はほぼ皆無。現在の耐力壁構造、柱・梁の余裕度(ビルダーが強度の高い材料を求める根拠弱い、軸組構法では常識的品質であれば十分)
- ⑤ 材料強度と住宅の耐震性 大壁仕様と耐震性(非構造部分の寄与で実力壁量は規準の3~5倍、大壁仕様の寄与)
- ⑥ 材料強度のバラツキと構造物の強度 (製材強度のバラツキが大きいのが問題? (製材の等級区分(バラツキ小さく、高位等級の強度を上げる、低強度材の除去)、直列系(構造強度は下がる、バラツキ大きい材料は危険)、並列系(構造強度は上がる、バラツキ大きい材料でも安全))
- ⑦ 製材規格の誕生と必要性 (製材規格の歴史、JASは枠組壁工法及び中・大規模では必須、軸組構法では致命的問題は無い、無規格の構造用製材が使用できる先進国は日本だけ、軸組構法用

JA Sを作る?)

⑧ 製材による中大規模構造(内外の事例紹介)

■第21回全市連国産材需要拡大製材品特別展示会

1月27日 木曾官材市売協

全市連、木曾木材工業協同組合(麦島照幸理事長)及び木曾官材市売協同組合(野村弘理事長)は、1月27日(土)、第21回全市連国産材需要拡大製材品特別展示会を開催した。来賓は、中部森林管理局の宮澤俊輔局長、村上淳長野県議員、長野県木曾官材市売協同組合顧問、長野県木曾地域振興局小田切昌彦課長、宮崎広雄長野県木曾連専務理事、大屋誠上松町長及び新津清亮木曾森林管理署長ほか。

開会にあたり主催者を代表し、全市連の小合専務は、「国有林・県・町及び関係者の感謝と貴重な地域資源である天然木曾ヒノキ・(高)等国有林材、プレミアムカラマツを地元で優良な製品に加工し、付加価値を付けて出荷することは、地方創生に資すると共に、資源の最大価値を実現することであり、引き続き安定供給をお願いする」と挨拶した。続いて、木曾官材市売協同組合顧問和副理事長から前日の審査結果について、「長官賞の天然木曾檜柁平は、樹齢300年以上の歴史から作り上げられた、長尺無地、色合いと年輪の目通りの良さから生み出されたソフト感が評価された」等の講評を行った。

来賓の宮澤森林管理局長からは、「日頃の御礼と併せて、木曾ヒノキ等樹種優

良材を引き続き計画的に安定供給に努めたい。A材及びB材の需要拡大が重要で、国有林としてそのニーズに添えていきたい。今年の初市なので、地元が自信を持って加工し、出品した製品ばかりなので、高値のお買い上げを願いたい」旨の御挨拶を頂いた。

木曽官材市売協同組合特別顧問の村上淳長野県議会議員は、「初セリ及び入賞者へのお祝いに加え、民国連携における国有林への感謝。我が国三大美林の材を生かす匠の技術への敬意を表すと共に、今年一年の商売繁盛を祈りたい。」旨の御挨拶を頂いた。入賞者は以下の通り。
 ◆林野庁長官賞(天然木曾檜柁平) 株井上 ◆長野県知事賞(信州プレミアムカラ



(初競りの様子)



(表彰の様子)

マツ桁(株)勝野木材 ◆中部森林管理局長賞(天然木曾檜柁盤) 志水林業製材 ◆全市連会長賞(天然木曾檜耳付板) (有滝正木材 ◆長野県木連理事長賞(高)木曾ヒノキ平割一式) のむら木材(株)。

式典後の初市は、晴天に恵まれ、約100人の買方様が参加。天然木曾松(板目盤) 6・5m×47・0cm×11・0cmに450万円/m、天然木曾松(柁盤) 4・6m×21・5cm×14・5cmに250万円/mの高値があった。総売上額は、2,000万円、平均単価27万6千円となった。

■平成30年度経済産業省中小事業対策予算案等の概要

30年度当初案(中小企業対策費) 1、771億円(内経産省計上1、110億円) 29年度補正予算案(同) 2、040億円。ポイントは、次のとおり。
 1. 中小企業・小規模事業者等の抜本的な生産性向上
 ○ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業【1,000億円】(29補正)
 ・中小企業・小規模事業者が、認定支援機関と連携して、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の支援。なお、設備投資等とあわせて専門家に依頼する費用も支援。
 2. 事業承継・再編・統合による新陳代謝の促進
 ○中小企業再生支援・事業引継ぎ支援事業【69億円(61億円)】
 ・後継者問題を抱える中小企業・小規模事業者の事業引継ぎや事業承継の促

進・円滑化を図るために、課題の解決に向けた適切な助言、情報提供及びマッチングについてのワンストップ支援等、創業希望者と後継者不在事業主等とのマッチングを行う。また、財務上の問題を抱えている事業者への再生計画策定支援。
 ○事業承継・世代交代集中支援事業【50億円】(29補正)

・休業業リスクの高い事業者に対するプッシュ型の支援により経営者に事業承継への取組を働きかけるとともに、事業承継やM&Aを通じた事業引継ぎをきっかけとして、経営革新や事業転換に取り組み中小企業の設備投資等を支援。
 3. 人材不足への対応 69億円(68億円) 【補正】25億円
 ○中小企業・小規模事業者人材対策事業【19億円(17億円)】(30当初)

・中小企業・小規模事業者が必要とする人材について、地域内外からの発掘・確保・定着を一括支援する。「人手不足対応ガイドライン」の普及や、中核人材等の確保に向け多様な雇用形態の導入促進等に取り組み。

■林材業の業況動向調査結果の概要(要点)

(独) 農林漁業信用基金は、平成29年度下期の「林材業の業況動向調査結果の概要」を公表した。概要は次のとおり。
 1. 売上の見通し 売上の見通しDI(増加・減少)は△3Pで、前回比5P上昇
 2. 資金繰り等の見通し

- (1) 資金繰りの見通しDIは△9Pで、前回比3P下降
- (2) 借入金調達難易度の見通しDIは3Pで、前回比2P下降
- (3) 借入金残高の見通しDIは△11Pで、前回比6P上昇
- (4) 短期借入金金利の見通しDIは△4Pで、前回比4P上昇。平均金利の実績は2・02%(前回同)。
- (5) 売上代金の回収状況及び仕入代金の決済状況については、
 ① 売上代金の回収状況は「手形50%以下」が上昇、それ以外は横這いまたは下降
 ② 受取手形のサイトの状況は、「5ヵ月以上6ヵ月未満」と「6ヵ月以上」の割合が上昇、それ以外は横這いまたは下降
 ③ 仕入代金の決済状況は「手形80%以上」が上昇、それ以外は横這いまたは下降
 ④ 支払手形のサイトの状況は、「3ヵ月未満」・「3ヵ月以上4ヵ月未満」・「5ヵ月以上6ヵ月未満」が上昇、それ以外は横這いまたは下降
- 3. 設備投資の意向
 (1) 設備投資の見通しDIは△36Pで、前回比7P下降。29年度上期に設備投資を実施した企業の割合は30%、DIは見通しより10P少ない。
 (2) 設備投資の目的(上位3項目)は、「老朽化に伴う設備の更新」(61%)、「コスト低減」
 等の合理化」(19%)、「規模拡大のための増設」(10%)。
 4. 在庫量の見通し
 (1) 原木在庫量の見通しDI(過小・過大)は△25Pで前回比6P下降した。

(2) 製品在庫量の見通しD Iは△4 Pで、前回比3 P下降した。

5. 純利益の見通し
純利益の見通しD I(増加―減少)は△11 Pで、前回比5 P上昇。

地域別見通しD Iは、「北海道」・「東北」・「関東」・「東海」・「九州」は前回調査比上昇、その他の地域では下降、全国平均では前回比6 P上昇。

6. 木材価格の見通し
(1) 原木価格の見通しD I(下落―上昇)は35 Pで、前回比21 P上昇した。

(2) 製品価格の見通しD Iは6 Pで、前回比12 P上昇。

7. 当面する経営上の問題点
(1) 経営上の問題点(上位3項目)は、「売上不振」(19%)、「原材料仕入れ原価上昇」(18%)、「人手不足」(18%)、「人件費増加」(13%)。

8. 今後の経営の見通し他
(1) 今後の経営の見通しD I(楽―苦しい)は△16 Pで、前回比1 P上昇。

(2) 今後の事業方針D I(拡大―縮小・転廃業)は7 Pで、前回比3 P上昇。

■東京都モクコレ開催

平成30年1月30日(火)～31日(水)、東京都(都森林課担当)は、東京ビッグサイト(江東区)において、「Woodコレクション2018」(モクコレ)を開催した。一昨年から3回目の開催、今年は、全国育樹祭関連事業という意味合いもあり、北海道から沖縄県まで、全国33都道府県324社・団体が出展し、2日間で4,000人の来場者にぎわった。今回の目玉展示は、特色ある地域材を活

用した「全国いつびんコーナー」で、福島県産漆塗りの盃、埼玉県のメープルシロップやキハダを使ったサイダー及びビノキをオリーブオイルで塗装した「オリーブ家具」等が来場者の関心を呼んだ。それ以外のブースにおいても、様々な工夫により、大消費地東京と各道府県が連携し、木材利用を拡大し、全国の森林を元気にすることを目的としたにぎやかな展示会となった。オープニングセレモニーには、小池百合子都知事も出席し、開催趣旨を含めた挨拶を述べたほか、タレントなスケジュールの中、地元東京のブースを確認するなど駆け足で会場を視察した。「来年度も開催することが決まっております、全国の関係者の参加を呼び掛け



(モクコレ展示の様子2)



(モクコレ展示の様子1)

てゆく(都森林課)」とのこと。

■中国「木構造設計規範」改訂

日本では「木構造設計規範」(以下「設計規範」という)の改訂が、2017年11月に公告され、2018年8月に施行されることとなった。設計規範は、基本的には5年程度毎に見直されるが、中国側の設計規範見直し作業には、行政・業界等の支援も受けながら、日本からは、日本木材輸出振興協会が窓口となって参加し、2010年から取り組んできたもの。

日本に関連する主要改訂内容の概要は、①日本のスギ、ヒノキ及びカラマツが構造材として、使用できることとなり、それぞれ設計基準強度が与えられる②これまでの中国の木構造等に加え、日本の木造軸組構法を基本とした、近代的な木造軸組構法が加わる。

国産材の輸出については、これまでも中国が最大の輸出先(木材輸出総額の約4割のシェア・丸太主体で土木用、梱包材及び棺桶等の需要が主と考えられる)であったが、今後は、構造材としての国産材と軸組構法を一体的にセットで、高付加価値国産材製品の輸出が可能となり、中国向け国産材輸出促進の環境が更に整備されることとなる。中国での設計規範施行関連の情報は、年末の自民党二階俊博幹事長訪中の大きな成果として、訪中の際、中国「住宅・城建設部」総設計部を訪れてこれらのスケジュール等を確認した、進藤金日子参議院議員(自民党 全国区比例)のHPに掲載。

雑記帳

森林環境税

森林・林業・木材関係者にとつての長年の期待・願望・悲願であった、森林吸収源対策の財源確保対策としての国税版の「森林環境税(仮称)」の平成36年創設が、平成30年度税制大綱に盛り込まれた。現行の復興税との関係で、36年度からの徴収となるが、市町村等への配分については、将来の徴収を先取りして、「交付税及び譲与税配布金特別会計」が借入し、「森林環境譲与税(仮称)」として平成31年度から前倒し実施されることになっている。新税徴収時期と「新たな森林管理システム」の実施時期との間を埋める時間差攻撃とも言える森林環境譲与税は、総務省筋からのアイデアとことだが、誠に政治的な「一休さん」的な妙案と言えようか。各市町村への配分の算定因子については、私有林人工林面積(5割)、林業就業者数(2割)、人口(3割)とされ、都市部への一定の配慮がされているが、森林吸収源対策としての森林整備等、本筋にこのような財源が必要な地域への、重点配分・更なる配慮を期待したいものである。また、悪乗りではないが、本来の趣旨と、あまりに、かけ離れた用途での税の使用については、国民の皆様の貴重な税金であり、背信行為とならぬよう、後ろ指を指されることの無いよう、しっかりとチェックを願いたいものである。更に、この財源が新設されることを以て、本来必要な、森林・林業関係の公的予算が減額され、間違っても、「トータルとして出負けとなる」というようなことのないようお願いしたい。